

高齢化、暮らし支える

秋田南高中等部(秋田市)

×

秋田住宅流通センター(秋田市)



店舗で不動産売買の接客を体験する秋田南高中等部の4人

秋田南高校中等部は渡辺優香さん、筒井燿さん、猪股あずみさん、小林清歌さんの2年生4人がメンバー。秋田市山王の秋田住宅流通センターを訪ねて業務の一端に触れ、高齢化が進む社会の中で不動産業が果たす役割について理解を深めた。

秋田住宅流通センターは1980年創業。賃貸仲介・管理、不動産売買・仲介のほか損害保険代理店業務などを手がけており、秋田、横手の両市に計7店舗を展開している。



はじめに代表取締役社長の北嶋暢哉さんが事業概要や理念を説明。「重い家具や家電を動かしてほしい」「トイレの扉が開かない」など入居者から寄せられる相談は多岐にわたるといい。「住まいの提供だけでなく、暮らしに関わることを幅広くサポートするのが私たちの仕事。高齢化が進むにつれ、一層柔軟さが求められる」と話した。

4人は人材開発室の佐藤初美さんの案内で賃貸仲介と不動産売買の実店舗も見学し、接客も体験。佐藤さん扮する来店客から希望条件を聞き取り、要望に添う物件を紹介した。生徒たちは「暮らしの中で生じる細かい問題にも対応していることが分かった」などと口にした。